

4.5 点検記録表（コンクリート橋編）

【参考様式－1 日常点検（橋梁）】

1.点検記録表

コンクリート橋用

路線名	〇〇線農道				管理者	〇〇改良区	
橋梁名	〇〇農道橋				所在地	〇〇県〇〇市〇〇地内	
点検日	西暦 202〇年〇月〇日				点検者	〇〇 〇〇	
天候	前日	晴	当日	晴			
橋長	〇〇m		径間数	1径間	全幅員	〇〇m	
上郡工形式		RC床版橋		下部工形式		重力式	

点検箇所	点検内容	判定結果			備考
高欄	事故等によって変形しているか	有	無	不明	
	劣化しているか	有	無	不明	
地覆	ひび割れが見えるか	有	無	不明	
	剥がれ落ちているところがあるか	有	無	不明	
	鉄筋が見えているところがあるか	有	無	不明	
As舗装	タイヤ走行位置に凹凸があるか	有	無	不明	
	穴や異常なへこみがあるか	有	無	不明	
	ほぼ等間隔の橋軸直角方向（横断方向）のひび割れがあるか	有	無	不明	
	亀甲状のひび割れがあるか	有	無	不明	
	部分補修箇所に穴やへこみがあるか	有	無	不明	
Co舗装	穴や異常なへこみがあるか	有	無	不明	
	ひび割れがあるか	有	無	不明	
伸縮装置	伸縮装置本体に損傷と思われるようなところがあるか	有	無	不明	
	伸縮装置本体に段差があるか	有	無	不明	
	橋側の舗装にへこみや損傷があるか	有	無	不明	
	橋面の排水状態が悪く雨水が伸縮装置へ流れ込んでいるか	有	無	不明	
	地覆の空き部に損傷があるか	有	無	不明	
排水装置	路面横の排水ますに土砂が詰まっているか	有	無	不明	
	排水管が破損して水漏れしているか	有	無	不明	
	排水ますの蓋や排水管その他に変形・損傷はあるか	有	無	不明	
床版	下から見上げて、白い染み、ひび割れまたは損傷があるか	有	無	不明	
	下から見上げて、白っぽいところがあるか	有	無	不明	
	下から見上げて、表面がはがれ落ちているところがあるか	有	無	不明	
	補修の痕があるか	有	無	不明	
桁（Co）	ひび割れまたは錆汁が見えるか	有	無	不明	
	剥がれ落ちているところがあるか	有	無	不明	
	鉄筋が見えているところがあるか	有	無	不明	
	補修の痕があるか	有	無	不明	
支承	車が通過したとき、叩くような音がするか	有	無	不明	
	錆ている所があるか	有	無	不明	
	本体まわりに壊れているところがあるか	有	無	不明	
橋台・橋脚	ひび割れまたは錆汁があるか	有	無	不明	
	剥がれ落ちているところがあるか	有	無	不明	
	桁と橋台の壁がぶつかっているか	有	無	不明	
	洗掘されているか（下が掘れているか）	有	無	不明	
	補修の痕があるか	有	無	不明	
その他	落橋防止装置があるか	有	無	不明	
	縁端拡幅コンクリートがあるか	有	無	不明	
	車が通った時、きしみ音や叩く音等の異常音が聞こえるか	有	無	不明	
	車が通った時、振動が大きいと思うか	有	無	不明	
備 考					

橋

点検平面図（写真位置図）

点検年月日
年 月 日

【下流側・至〇〇町】
(床版下面)

左岸側（左側）
橋脚
右岸側（右側）

【下流側・至〇〇町】
(橋面)

左岸側（左側）
伸縮
地覆・高欄
伸縮
地覆・高欄
右岸側（右側）
伸縮
地覆・高欄

【上流側・至〇〇町】

上流側・至〇〇町
橋台正面
【左岸側・左側】

フーチング
橋脚

上流側・至〇〇町
橋台正面
【右岸側・左側】

フーチング
橋脚

【上流側・至〇〇町】

※点検実施箇所について☑をすること
チェック欄

床版下面	☐ 床版
	☐ 主桁
	☐ 横桁
橋面	☐ 床版
	☐ 附属物
	☐ 排水施設
	☐ 舗装
橋台（左岸側・左側）	☐ 橋座
	☐ 支承
橋台（右岸側・右側）	☐ 橋座
	☐ 支承
橋脚（左岸側・左側）	☐ 橋座
	☐ 支承
橋脚（右岸側・右側）	☐ 橋座
	☐ 支承

損傷の種類（凡例）

ひび割れ

鉄筋露出

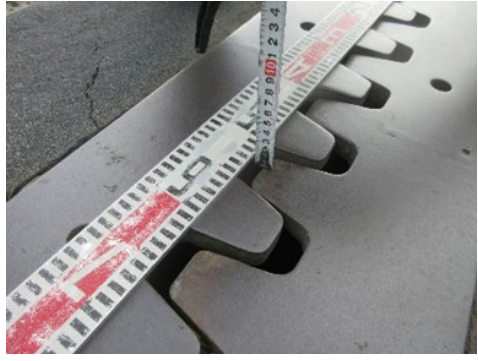
逆離石灰

漏水

・凡例に従い損傷をスケッチする。
・代表的な損傷箇所の写真を撮影し、スケッチ図に「損傷の種類」と「写真番号」を記入する。

コメント欄

2. 状況写真

(例1) 全景	(例2) 橋名板、橋歴板
	
(例3) 上部構造 床板	(例4) 下部構造
	
(例5) 支承部 周辺異物	(例6) 伸縮装置 段差
	

コンクリート橋 点検平面図記載例 (状況写真含む)

[illegible]

2. 状況写真

(例1) 主桁 下面剥離 	(例2) 主桁 下面剥離(拡大) 
(例3) A1橋台 遊離石灰 	(例4) A1橋台 漏水跡 
(例5) A2橋台 漏水跡 	(例6) 地覆 欠損 

4.6 点検結果記録の蓄積

点検等の結果は、保全対策計画を立案する上で参考とする基礎的な情報であり、適切な方法で記録し、蓄積しておかなければならない。

また、農道の保全対策は劣化の進行を踏まえて、より効率的な保全対策を比較検討し選択するものであるため、構造物諸元、保全対策の履歴、日常管理状況、点検結果等の情報が検討にあたっての重要な情報であり、これらの情報を構造物毎に収集・蓄積し、一元的に管理し、データベースを構築することが重要である。

このデータベースにより、的確に構造物の状況を把握し、日常管理や点検の効率化が図られ、劣化予測の精度の向上等に活用できる。

保全対策の履歴、日常管理状況、点検結果等の情報を毎年更新するとともに、データベースを容易に更新、検索、編集できるようにしておくことも有用である。